

## 出世稲荷

成田山大本堂前の休憩所脇にある石段を上り、左手に少し行くとダキニ天尊に供える「油揚げ」と「ろうそく」を売っているお店があります。200円で購入できますので、ダキニ天尊に特別にお願いごとをしたい場合は是非購入してお供えしましょう。入口の鳥居の近くに由来が書かれた案内があります。「出世稲荷」へ上がる石段を上ると左右に七代目市川団十郎父子が奉納した石灯籠があります。鳥居をくぐり、まっすぐ歩を進めると彫物が美しい鮮やかなお堂ダキニ天尊を本尊とする「だぢ尼天堂」通称「出世稲荷」があります。

その昔弘法大師が嵯峨天皇より東寺を賜りし時、この明神が翁の姿を現わし、色々有り難い教えを垂れられました（神仏が恵みを人々に与えること）ので、東寺の鎮守として祀られてから大いに盛んになったようです。お堂には御真言「ノーマクサンマンダ ボタナンキリカクソワカ」が書かれています。このお堂は古く明治21年（1888年）に再建されたものです。

お堂の彫工は後藤 敬信(向拝竜裏側)「刻銘」と石川銀次郎(脇障子裏側)「刻銘」です。

御本尊は木像で宝永年間（1700年頃）に佐倉城主稲葉丹後守（いなばたngoのかみ）が寄進したとされています。江戸時代の譜代大名、老中 稲葉 正往（いなばまさみち）

古来出世稲荷大明神と称せられて御稲荷様の御本体は倉稲魂神と申し、五穀のみのりと一切の食物を守護る施福の神として尊ばれています。毎年2月の二の午に出世稲荷祭礼が行われます。中央のお堂の周りには小さなお堂がたくさんあります。近くには「出世稲荷絵馬」がたくさん結ばれており、出世を願うならば、必ずお参りしておきたいお堂です。

出世稲荷絵馬には名刺を貼って所定の場所に結ぶのがいいようです。参拝時は名刺を忘れずに。お寺の境内にある神社は、二礼二拍手一礼ではなく合掌一礼です。間違わないようにしましょう。



### 稲葉 正往（正通）（いなばまさみち）

江戸時代の譜代大名、老中。相模小田原藩3代藩主、越後高田藩主、下総佐倉藩初代藩主  
成田山新勝寺に対して、協力的でいろいろな物を寄進している。

仁王門の多聞天・広目天も稲葉正通氏寄進である。

### 歴代佐倉藩藩主

武田信吉 松平忠輝 小笠原吉次 土井利勝 石川忠総 松平家信 | 松平康信

堀田正盛 1642-1651 | 堀田正信 1651-1660 | 幕政不満から、無断帰城し、改易除封

松平乗久 1661-1678 | 肥前唐津藩に転封

大久保忠朝 1678-1686 | 相模小田原藩に転封

戸田忠昌 1686-1699 | 戸田忠真 1699-1701 | 越後高田藩に転封

稲葉正往 1701-1707 | 稲葉正知 1707-1723 | 山城淀藩に転封

大給松平家 堀田家

堀田正信は佐倉宗吾を重税により苦しめる。